

2007年度第7回番組審議会議事録

1. 開催日時 2008年3月26日(水) 17:00~18:00

2. 開催場所 弊社サブスタジオ

3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8名

3-2. 出席委員 8名 為岡務・正岡健二・萩尾利雄・高木邦子・木辻清子・山本幸男
澤田智恵子・平川愛恵

4. 議事

4-1. 番組審議

第8回審議番組 3月7日(金) 20:00~21:00 放送

3月9日(日) 14:00~15:00 再放送

「CANTA BRASIL」 (55分)

協力 : 関西ブラジル人コミュニティ

パーソナリティ : マルセロさん ・ コウイチさん

毎週金曜日とその次の日曜日に再放送するポルトガル語の番組。

5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 出席者の審議

【澤田智恵子委員】

・どんな人が聞いているのか？ポルトガル語が分かる人には楽しい番組なのか。

【山本幸男委員】

・内容は分からなかったがさらっと流してきくことはできた。

【萩尾利雄委員】

・二人のパーソナリティが喋る声の音量の差がありすぎたのではないかと。
・スポンサーの立場を考えると、外国語のみの番組の後には日本語の提供番組を入れる気にはならないのではないかと気になった。

【木辻清子委員】

・出だしのテンポがよかったのでどんな番組が始まるのかと楽しみだった。
・話の内容は分からなかったが音楽は楽しめた。

【平川愛恵委員】

・パーソナリティの二人にとっては母国語を話すことのできる貴重な番組であり、留学先での体験としてよいことであろう。

【高木邦子委員】

- ・ 中身は分からなかったが二人の声の印象はよかった。若者らしく、また優しい雰囲気の違いで心地よく聞けた。
- ・ BGMも話の邪魔にならない程度であった。

【正岡健二委員】

- ・ 萩尾委員と同じ意見で、二人のマイクの距離がだいぶ違って聞こえた。
- ・ 初心者でも分かりやすい、放送で話すときの簡単な注意事項を示しておく必要がある。（マイクとの距離、物音を極力立てない、咳をするとき等々）
- ・ 何人の人が実際にオンエアで聞いているのか？
- ・ やはり番組構成上の工夫が必要。外国語番組は特に。

【為岡務委員長】

- ・ 皆さんと同じで内容が分からなかったのが教養番組の様な印象を持った。
- ・ 日本語を入れていったほうがよいと思う。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 今回は思い切って完全ポルトガル語の番組を選びました。
- ・ 浜松には大規模な日系ブラジル人の社会ができていて、インターネットやフリーペーパーを用いてポルトガル語で情報発信をしているところがあります。神戸の日系ブラジル人の方たちもそちらをよくチェックしているそうです。パーソナリティの二人はそれに慣れていますが、一人は日本語も話しますしマイク操作等も上手にこなしていますが、もう一人は日本語はあいさつ程度。また、話をするときに相手の方を向くとマイクから離れてしまいがちです。
- ・ 彼らの番組を聞いた日系ブラジル人の方たちから番組をしてみたいという反響がありました。
- ・ 外国語番組は集まってくるスタッフに喋る楽しみを提供する場所であり、スポンサーは全く考えていません。
- ・ FMわいわいのホームページ上で番組内容の事前情報をお知らせしています。
- ・ 今後は日本語も挟んでいくようにしようと思います。
- ・ 神戸市はいろいろな国籍の人が他の都市よりバランスよく住んでいるという全国的にも珍しい都市と言えます。FMわいわいを、日本語を共通言語として自分たちのコミュニティ以外の様々な人たちとの出会いの場所にしてほしいと思っています。

【萩尾利雄委員】

- ・ 大事なのは孤立しないこと。日本の社会とコンタクトを持とうと思って放送するのかそうでないのかでは番組も自ずと違って来る。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

・

8. 審議内容の公表について

8-1. 公表内容 議事の内容

8-2. 公表方法

8-2-1. 自社放送 2008年4月26日(土)17:50~18:00放送

8-2-2. 議事録の設置

8-2-3. ホームページに掲載

以上